

マーケットの動き（2023年10月30日～11月2日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

31日の日銀金融政策決定会合では2度目となる長短金利操作の柔軟化が決定され、長期金利が市場に応じて一定程度上振れることを容認することとなりました。その後、長期金利は一時0.97%と2013年5月以来の水準まで上昇しましたが、欧米金利の低下を受け金利上昇幅を縮めて週を終えました。

クレジット市場は、投資家の慎重姿勢が強まる中、利回り差はほぼ横ばいに推移しました。

投資環境見通し（2023年10月）

国内長期金利は上昇圧力の強い状況が続く

日銀は当面、現行の金融緩和策を継続するとみられますが、投資家の間では為替や物価動向を注視しつつ政策修正に対する関心が強まり、国内長期金利は上昇圧力の強い状況が続くとみえています。

	11月2日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.92	0.06	0.17	0.51	0.68
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	360.08	▲0.28%	▲1.25%	▲3.89%	▲3.21%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202310_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2022年9月30日～2023年11月2日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2022年9月30日～2023年11月2日）



※2022年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成